

http://www.minamih.net/



12・6・17(日)
南NEWS NO17

学校で係り活動や掃除・給食当番などをしっかりやっていますか。

午後練の始めの準備、終わりの片付け、率先してやる子はいるのですが、少ないように思います。

いまだんな場面か状況判断ができれば、何をしたらよいか選択し、行動できるはずですが、それができる子が減ってきていると感じてしまうのです。

私が由井三に行くと既に子ども達はゲームをしています。とてもいいパフォーマンスを魅せてくれます。いいなと思いますが、準備が始まったら手伝ってくれる子がいないのかなとも想ってしまうのです。

5年生の時はできる子がいたのにな、学校ではどうなのかなと想い、心配してしまうのです。

b y 南のアンパンマン

拓大杯6年生 トーナメント二回戦 2012.06.10 拓大サッカー場

○南八王子 SC 3-3 南陽台 SC (前半 2-0)

得点：小林君、栗橋君、平山君 PK3-4 負け

○めあて：コーチング、アジリティ、パス&ムーブ



実力発揮で初戦を突破した拓大杯二回戦。相手は南陽台 SC。立ち上がりから南の動きが今一つ良くない展開で少し押し気味。最初のチャンスは開始 5 分に阿部君のスルーパスから小林君が抜け出しシュート！これは GK 正面。

その直後相手 DF のボールを積極的に奪った小林君が今度は落ち着いてゴール隅を狙いシュート！先制点。13 分には FW 栗橋君が相手 DF との 1 対 1 に競り勝ちそのままシュートで追加点。

ようやく勢いが出てきたと思ったが今日の南の子の動きと元気が今一つで前半終了。

切り替えを早く、声を出して行こうと指示を出し後半戦開始。

後半 5 分阿部君からのコーナーキックを平山君がニアで合わせて 3 点目。3 点先制しても南の元気が無く、逆に南陽台の子の動きが良くなってきました。

6 分にミドルシュートを打たれて失点。この 1 点から相手の勢いが加速して攻められる展開に、ペナ内で必死にこらえるが相手を DF 森久保君が押ししまい PK を取られ 2 失点目。この時点で流れは完璧に南陽台ペースでこの後も南は防戦一方。

終了 5 分前に谷口君が自陣バイタルエリアで大きくクリアしたボールが前線の栗橋君に・・・カウンター攻撃だと思ったところでピッピと終了の笛??? 主審の時間ミスはたまにある事だが再開場所が谷口君がクリアした場所からのドロップとは・・・(これもサッカーですね)

自陣ペナルティーエリア内で必死に平山君が守った瞬間足と足がぶつかり小笠原君と負傷交代。相手のスローインをその小笠原君と阿部君がドッキングで奪いに行くがお互いのコーチングが無く、

後に落とされてゴール前にアーリークロス、逆サイドでフリーになっていた選手に押し込まれて同点ゴールを奪われてしまいました。

この後足を痛めてベンチにいた小林君を無理に出して点を取りに行きコーナーキックのワンチャンスをもらうが、コミュニケーションが合わず失敗で試合終了。勝負は PK 戦へ。阿部君、小林君、小山君、森久保君、谷口君と蹴り、結果は PK3-4 で負け。まさかの逆転負けで 2 回戦敗退です。

この試合、南陽台の子の勝ちたいと思う気持ちが南の子よりだいぶ強かったと思います。

3点取られても諦めないで1人1人が全力でゴールを目指す気持ちを見習って下さい。アップの時から南陽台の子の方が気持ちが入っていた様に思えます。

めあてのコーチング、アジリティ、パス&ムーブは出来てましたか？1人1人もう一度考えましょう。

この拓大杯は愛宕SCが優勝しました。この愛宕に君達は全日本で勝っています。力は十分にあります。ただ気持ち次第で3点差を簡単にひっくり返される弱さもあります。

自分に対しての厳しい気持ちが足りません。甘ったれないで強くなりましょう。

6年生です。南の仲間達との試合は貴重な時間です。1つ1つ無駄にしないでレベルアップしましょう。

最後に挨拶をする。返事をする。人の話を聴く。ここからしっかりしましょう！コミュニケーションです。

b y 阿部コーチ



優勝する力を持ちながら6年生の拓大杯も残念な結果に終わりましたね。みんなが試合に出て、勝ちきる計算のできる相手。「めあて通りにできない子はすぐに交替」と言って先発をきめた試合でした。

阿部コーチのコーチ所見をしっかりと読んでください。心の眼でしっかりと読んで、心の耳でしっかりと聴いてください。

拓大杯で優勝した愛宕とは、阿部コーチが指摘しているように、全日本予選では先制されましたが3-1で逆転し、完勝と言ってよい素晴らしい試合を観せてくれたみんなです。

何故、そのような試合ができないのか。それは“気持ち・優しさ”の不足です。「全員出してあげたいから、先発で出た子は全力でGAMB Aってくれよな！」とピッチに送り出しますが、心の耳に届いているのでしょうか。

どのように戦えばよいのかはみんな自身がよく知っていると思います。コーチング・アジリティ・パスアンドムーブができれば、最高のパフォーマンスができることはよく分かっているはずですが、ベンチで出番を待ちながら応援してくれるメンバーの気持ち思いやる優しさ、一生懸命教えてくれるコーチたちの気持ち、いつもみんなのことを思い、応援してくれるお家の人たちの気持ちを思いやる優しさがあれば、めあての達成をめざしてGAMB Aれるはずですが。

『モチモチの木』(斉藤隆介作)の最後の場面。じさまが豆太に言っています。『人間、やさしさあれば、やらかなきゃならねんことは、きっとやるもんだ』

みんなの周りにいる大人たちのみんなを想う気持ち・優しさが、いろいろと大変なことがたくさんある世の中でも、みんなのためにGAMB Aる強さを発揮させているのです。子どもだって同じです。真に優しい子は強さを発揮しています。

b y 南のアンパンマン